

河

蔡明亮
監督作品

【スタッフ】

監督 蔡明亮 [ツァイ・ミンリヤン]

製作 鍾湖濱 [チウ・フービン]

プロデューサー 徐立功 [シユ・リーゴン]

邱順清 [チウ・シュンチン]

脚本 蔡明亮 [ツァイ・ミンリヤン]

楊碧瑩 [ヤン・ピーイン]

蔡逸君 [ツァイ・イーチュン]

撮影 廖本榕 [リャオ・ベンロン]

録音 楊靜安 [ヤン・チンアン]

編集 陳勝昌 [チン・シェンチヤン]

雷震卿 [ライ・チンチン]

美術 李寶琳 [リー・ハオリン]

照明 王盛 [ワン・シェン]

【出演】

李康生 [リー・カンション]

苗天 [ミャオ・ティエン]

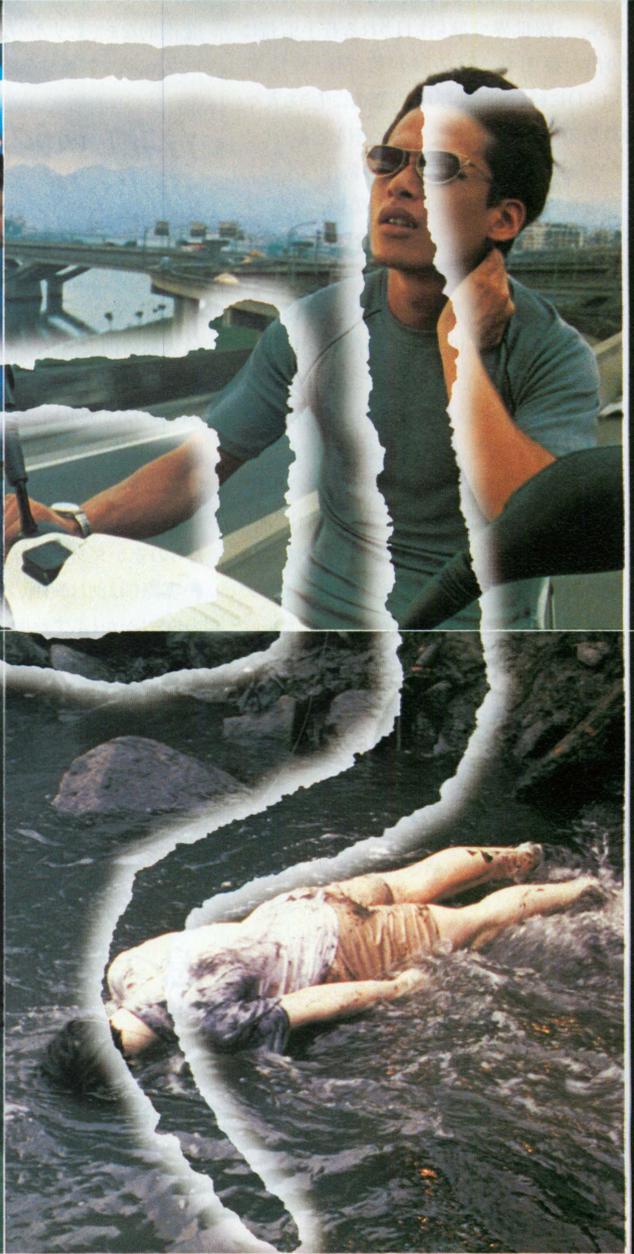
陸筱琳 [ルー・シアオリン]

陳昭榮 [チン・チヤオロン]

陳湘琪 [チン・シアンチー]

許鞍華 [アン・ホイ]

楊貴媚 [ヤン・グァイメイ]



都会の
澱みの
うごめく
魂。

1997年

台湾映画

カラー

1時間55分

配給 ユーロスペース

1997年

ベルリン

国際映画祭

銀熊賞受賞



河

1997年ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞

監督-蔡明亮(ツァイ・ミンリヤン)

出演-李康生(リー・カンション)/苗天(ミャオ・ティエン)/陸筱琳(ルー・シアオリン)/

陳昭榮(チェン・チャオロン)/陳湘琪(チェン・シアンチー)/許鞍華(アン・ホイ)/楊貴媚(ヤン・クイメイ)

1997年 台湾映画 カラー ヴィスタサイズ(1:1.85) 1時間55分

配給-ユーロスペース



凄まじい才能の凝縮、紛れもない傑作!

●『青春神話』(92)でデビューするなり、その圧倒的に独自の映像世界で観客を衝撃の渦に巻き込み、一躍世界で最も注目される若手監督に躍り出た蔡明亮。そんな彼が第二作『愛情萬歳』(94)に続いて三たび現代都市に生きる人々の救いのない孤独感、愛への渴望を容赦ないタッチで抉りだしてみせたのが、この新作『河』である。'97年ベルリン国際映画祭で鳴り物入りでワールドプレミア上映されるや文句なしの絶賛を獲得、みごと銀熊賞に輝いた。

●『青春神話』『愛情萬歳』と蔡明亮が描きつけてきたのは、非人間的なまでの急速な変化に晒される現代都市・台北の片隅で、その変化の速度に調和しきれず置き去りにされた若者たちやその家族の姿だった。希望を見出せぬまま苦悶し、癒しを求めて当てもなく徘徊する彼ら。彼の現代都市三部作の完結篇、集大成に当たる新作『河』が題材にするのも、そうした同じ境遇を生きる人々たち。その姿を、これまで以上に些かの叙情やロマンチズムも挟み込むことなく冷徹に焙りだしていった、震撼せずにはいられない傑作の誕生である。

目眩がするほど張り詰めた、恐るべき映像

●その一分の隙もない研ぎ澄まされた映像に目眩を感じないものはいないだろう。本当は熱気に満ちた都市なのに、まるでペルトルッチの



『ラストタンゴ・イン・パリ』のようなどんより曇った空気感と寒さに支配された台北。本来は人口過密都市なのに、不思議と人気^{ひとけ}の消え去った台北。蔡明亮のカメラは、人物ばかりを浮き立たせることを排した厳格な光線設計を援用し、魔術的なまでにリアルな筆触で今の台北とそこに生きる人々の孤独を描出していく。

台北じゅうの汚水を湛えた“河”

●タイトル^の『河』とは、具体的には台北の西の端を流れる淡水河のこと。パリで言えばセーヌ河に相当する、いわば台北の繁栄の基礎となった最大級の河でありながら、今では街の活気^のの中心・東地区から遠く離れて人々から存在さえ忘れられつつある淡水河。廃れた西地区の一番西の端で、上流からの水量も不足したまま台北じゅうの汚水を湛えて死んだように濁った表情で横たわるその河には、どこか蔡明亮映画の登場人物たちの姿がダブって見えてくる。

●実際には河は映画の冒頭にわずかに登場するのみにしかかわらず蔡明亮がこれを『河』と名付けたのも、この河の在り方自体が彼にとって何か象徴的なものに見えたからだろう。「この河には囲いがしてあって、遠くから見限りでもきれいに見えません。でも近づいてみると、実はとても汚れている事がわかる。現代の社会もそうです。それを表現したかった」と蔡明亮は言う。

役者たちの息づまる競演

●キャスティング、設定、演技内容などの面で蔡明亮映画には興味深いリフレインがあった。『河』も彼の映画世界の集大成にふさわしく、蔡明亮の繰り返しに満ちている。主演は前二作に続いて再び李康生(リー・カンション)。その両親役には『青春神話』でも両親を演じていた苗天

(ミャオ・ティエン)と陸筱琳(ルー・シアオリン)。「青春神話」と同じ一家が同じ台北西部のアパートで生活している、という設定だ。またサウナの客の役で『愛情萬歳』などの陳昭榮(チェン・チャオロン)、特別出演で『愛情萬歳』の楊貴媚(ヤン・クイメイ)も出演。蔡明亮映画のスターが、総集した。

●さらに、『エドワード・ヤンの恋愛時代』の陳湘琪(チェン・シアンチー)も加わり、李康生との激しいベッドシーンを演じている。



首の奇病

●映画は、あてどなく街をうろついていた李康生が旧友の陳湘琪と久しぶりに再会する所から始まる。陳湘琪はアン・ホイ監督の撮影隊のスタッフ。李康生は彼女に誘われるがままアン・ホイの撮影現場を訪れる。そしてひょんなことから河に浮かぶ死体役に抜擢されてしまう。その後、ホテルでセックスに溺れる李康生と陳湘琪。だが翌日、李康生は首が曲がったままになる奇病に取り憑かれる。

●李康生の家族は一つ屋根の下に暮らしながらも心は離れ離れで、それぞれに孤独を抱えていた。その孤独をゲイ・サウナに通うことで癒す父。一方エレベーターガールを務める母も、海賊版裏ビデオの宅配業を営む愛人とその密会に余念がない。●李康生の首の病気は、崩壊^のしたこの家族にわずかな交流を回復させる。両親のケアのもと、病院、マッサージ、霊感療法など様々な治療を試みる彼の「旅」が始まる。はたして彼に、そして崩壊^のしたこの家族に、救いはやってくるのか。それともあの台北の河のように濁った水に閉ざされたまま、永遠に生命感を回復する兆しは訪れないのか……。

世紀の傑作、この作品を観ずに今年^のの映画界は語れない……

10月31日(土)、衝撃のロードショー!! (11/13迄)

①11:40 ②2:00 ③4:20 ④6:40~8:50 *各回、入替制になります。途中入場はお控え下さい。

★前売鑑賞券¥1500(当日一般券 ¥1800の処)絶賛発売中!

*劇場窓口ほか、EST-1、阪神、阪急、ロイヤル・ギフト、心斎橋ごろう、心斎橋バルコなど市内各所のプレイガイド、びあ、ローソン、チケットセゾンでお求め下さい。

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F

パラダイスシネマ

06(282)1460

蔡明亮を生んだ傑作映画の宝庫・台湾。その全貌を解き明かす。

<台湾映画祭>

10月17日(土)~30日(金)

★李行、胡金銓らの伝説の名作から、巨匠楊徳昌や侯孝賢らの傑作、陳玉勳など最先端の才能まで全37作品、一挙公開!!

★上映に関する詳細は、別紙チラシか、パラダイスシネマまで問い合わせ下さい。